

(別紙様式1)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 岐阜県
農業委員会名： 本巣市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)
総農家数	1809	農業就業者数	1673	認定農業者	52
自給的農家数	687	女性	883	基本構想水準到達者	29
販売農家数	1122	40代以下	112	認定新規就農者	12
主業農家数	121	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	5
準主業農家数	263			集落営農経営	
副業的農家数	738			特定農業団体	
				集落営農組織	

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	1270	602				1870
経営耕地面積	927	395				1323
遊休農地面積	8.2	2.4				10.6
農地台帳面積	1683	629				2312

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数							
認定農業者	—						
女性	—						
40代以下	—						

新制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 R 5年 7月 19日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	19	19			
認定農業者	—	6			
認定農業者に準ずる者	—	3			
女性	—	2			
40代以下	—	4			
中立委員	—	2			

農地利用最適化推進委員	19	19	3
-------------	----	----	---

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1870 ha	644 ha	34 %
課 題	農業従事者の減少・高齢化等による遊休農地の増加、農地の分散錯圃等が農地の確保・有効活用を図るうえで課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 689 ha (うち新規集積面積 45 ha)
	目標設定の考え方: 過去の実績と今後の見込みを勘案し設定した。
活動計画	農地所有者への意向アンケートを実施し、担い手への農地集積を推進する。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	30年度新規参入者数	元年度新規参入者数	2年度新規参入者数
	3 経営体	0 経営体	6 経営体
	30年度新規参入者が取得した農地面積	元年度新規参入者が取得した農地面積	2年度新規参入者が取得した農地面積
	3.3 ha	0 ha	2.2 ha
課 題	農業者の高齢化や農業後継者の不足により、地域の農業を担う者が減少しており、担い手の育成・確保、新規参入者の育成を図っていく必要がある。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

参入目標数	3 経営体	参入目標面積	1 ha
活動計画	新規就農者を対象とする支援施策の周知・啓発を行う。 就農希望者の個別相談等に対応する。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	1880.6 ha	10.6 ha	1 %
課 題	農地の利用状況調査の円滑な実施と、遊休農地の所有者への指導徹底が必要である。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
 ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積: 1.1 ha			
	目標設定の考え方: 道路沿いにある集団農地を中心に取り組む			
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		38 人	7 月 ~ 8 月	9 月 ~ 10 月
	農地の利用意向調査	調査方法	1. 管内全域を調査区域とし、有効農地を中心にして道路からの目視による巡回調査を一斉に実施する。 2. 調査区域をエリア分けし、担当する農地利用推進委員及び農業委員を決めて調査する。	
			実施時期	調査結果取りまとめ時期
その他	10 月 ~ 11 月	11 月 ~ 12 月		

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入
 ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない
 ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	1870 ha	0.6 ha
課 題	他地域の砂利採取現場から搬出された残土が放置されている農地に対し、現在、県知事による勧告がなされているが、農地として復元させるのは困難である。	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
 ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の活動計画

活動計画	県と連携し、農地所有者に対し是正及び農地復元等の改善指導を行う。
------	----------------------------------

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入